

学術講演会・研究発表会・公開講座

「日本機械学会 第23回バイオフィロンティア講演会」開催のお知らせ

1. 日 時：2012年10月5日（金）・6日（土）
2. 場 所：弘前文化センター
住所：青森県弘前市下白銀町19-4、電話：0172-33-6571
3. プログラム：
 - 10月5日（金）
 - 9：00～12：10、13：00～14：30 学術講演
 - 14：40～18：00 バイオフィロンティア・シンポジウム
 - 18：30～20：30 懇親会
 - 10月6日（土）
 - 9：00～12：10、13：00～15：55 学術講演
4. 講演時間：講演時間は口頭発表10分、討論5分（計15分）
※発表機器は液晶プロジェクターを準備します。
パソコンおよび特殊な接続ケーブル等をご持参ください。
5. 参加登録費：正員5,000円、会員外7,000円、学生員2,000円、
一般学生3,000円（発表者および協賛・後援学協会員は会員扱い）
6. 講演論文集：参加登録者3,000円
（登録者以外は会員4,000円、会員外6,000円）
7. 懇親会：10月5日（金）18：30～20：30
ホテルニューキャッスル
住所：青森県弘前市上鞆師24-1、電話：0172-36-1211
会費6,000円（学生3,000円）
8. 企 画：日本機械学会バイオエンジニアリング部門
9. URL：<http://www.jsme.or.jp/conference/bioconf12-2/>

問い合わせ先：弘前大学大学院理工学研究科 笹川 和彦
電話&FAX：0172-39-3675
E-mail：bioconf12-2@jsme.or.jp

「震災研究交流会～
弘前大学のネットワークで震災研究を広げよう～」開催のお知らせ

弘前大学大学院地域社会研究科では、「震災研究交流会」を下記により開催いたします。震災対

応や震災研究に興味のある方はどなたでも参加・聴講できますので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

当日は報告の後に、震災に関する情報・意見交換を行います。

情報をお持ちの方はこの機会にご紹介ください。

1. 日 時：2012年10月9日（火）
18:00～
2. 場 所：弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大8F
八甲田ホール

3. 内 容：三上 真史 弘前大学大学院教育学研究科
「津波被災地の社会的被害の分析と課題」
～岩手県野田村の事例から

佐藤 和之 弘前大学人文学部教授
「大規模災害時の外国人被災者への情報伝達について考える」
～「やさしい日本語」は阪神淡路・新潟県中越・東日本大震災でどう使われたか

4. 対 象：一般の方、学生、教職員

問い合わせ先：弘前大学大学院地域社会研究科 教授 檜 椋 貢
電 話：0172-39-3938
E-mail：himaki@cc.hirosaki-u.ac.jp

「弘前大学大学院保健学研究科緊急被ばく医療検討委員会
平成24年度 第1回緊急被ばく医療研修報告会」開催のお知らせ

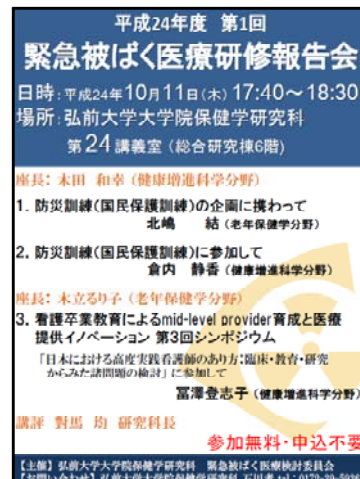
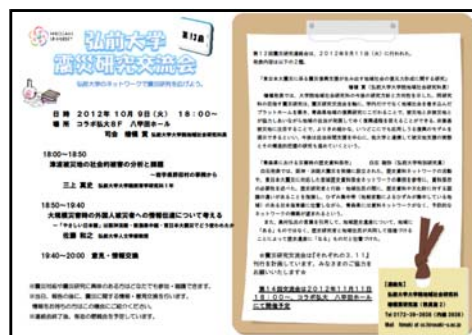
弘前大学大学院保健学研究科では、平成20年度から文部科学省特別教育研究事業として「緊急被ばく医療人材育成プロジェクト」に取り組み、その一環として緊急被ばく医療研修報告会を開催して国内外の緊急被ばく医療研修会に参加して得られた情報を公開してきましたが、平成24年度はその最終年度になります。

平成23年3月11日の東日本大地震により、地震による建物倒壊や津波被害、さらには原子力発電所事故に対する国民の認識はより現実性を増し、また緊急被ばく医療の重要性も認識されました。震災の爪あとが生々しく残っている現在、大震災に対する今後の対策が模索されています。

今回はそのような中で開催された青森県防災訓練（国民保護訓練）に関する報告のほか、我が国における高度実践看護師のあり方における諸問題に関する報告を行います。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

本研修報告会での情報共有が、ご参加のみなさまの資質向上に貢献することを期待しています。

1. 日 時：2012年10月11日（木） 17:40～18:30
2. 場 所：弘前大学大学院保健学研究科 総合研究棟6F 第24講義室
3. 対 象：弘前大学教職員、弘前大学学部学生、弘前大学大学院生、弘前大学医学部附属病院職員、青森県内医療従事者、その他
※参加費無料。事前のお申し込みは不要です。



4. プログラム：

- ・司会 石川 孝 講師（生体機能科学分野）
- ・演題発表
 - 《座長：木田 和幸 教授（健康増進科学分野）》 17:40～18:10
 - (1) 防災訓練（国民保護訓練）の企画に携わって
北嶋 結 助手（老年保健学分野）
 - (2) 防災訓練（国民保護訓練）に参加して
倉内 静香 助手（健康増進科学分野）
 - 《座長：木立るり子 教授（老年保健学分野）》 18:10～18:25
 - (3) 看護卒業教育によるmid-level provider育成と医療提供イノベーション
第3回シンポジウム「日本における高度実践看護師のあり方：臨床・教育・研究からみた諸問題の検討」に参加して
富澤 登志子 講師（健康増進科学分野）
- ・講評 對馬 均 保健学研究科長 18:25

5. 主催：弘前大学大学院保健学研究科緊急被ばく医療検討委員会

問い合わせ先：弘前大学大学院保健学研究科 石川 孝
電話：0172-39-5936
E-mail: ti3054@cc.hirosaki-u.ac.jp

「第6回東北糖鎖研究会」開催のお知らせ

1. 日時：

第1日目 2012年10月12日（金）
13:30～17:45
（懇親会：18:00～20:00）
第2日目 2012年10月13日（土）
9:00～15:00

2. 場所：弘前大学創立50周年記念会館 2F 岩木ホール

3. プログラム：

10月12日（金）

13:30～13:40

〈開会の挨拶〉 東北糖鎖研究会 会長 加藤 陽治

13:40～15:00 〈一般講演〉

○「脳型糖タンパク質の中樞神経疾患マーカーとしての意義」
橋本 康弘（福島県立医科大）

○「脳神経における $\alpha 1,6$ フコースの機能解析」
福田 友彦（東北薬科大・分子生体膜研・細胞制御学）

○「ガングリオシドとコンドロイチン硫酸による処理で明らかになったブラジキニンB2受容体とATP/UTP受容体P2Y₂の共役」
東 秀好（東北薬科大・分子生体膜研・生体膜情報学）

○「硫酸化多糖類の抗酸化活性に関する研究」
鯉坂 勝美（新潟薬科大・応用生命科学部）

15:15～16:35 〈招待講演〉

○「Glycan expression regulates stem cell differentiation and cancer

第6回
東北糖鎖研究会

日時: 第1日目 平成24年10月12日(金)13:30～17:50
(懇親会:18:00～20:00)
第2日目 平成24年10月13日(土)9:00～15:00

場所: (研究会)
弘前大学創立50周年記念会館 2階 岩木ホール
(懇親会)
弘前大学生協 レストラン スコーラム

参加費: (研究会)無料
(懇親会)一般:3,000円 学生:1,000円

【特別講演】
「ヒアルロン酸合成阻害剤-4-Methylumbelliferoneの発見とその後の糖鎖研究の新展開」
遠藤 正彦 先生(弘前大学)

【招待講演】
I1.1 「Glycan expression regulates stem cell differentiation and cancer progression; development of specific glycomarkers」
Prof. J. Michael Pierce (University of Georgia)
I1.2 「インスリン産生β細胞の機能におけるヘパラン硫酸の役割」
那谷 耕司 先生(岩手医科大学)

主催:東北糖鎖研究会(会長 加藤 陽治)
共催:日本応用糖質科学会東北支部
後援:(公財)水谷糖質科学振興財団
世話人:加藤 陽治, 大山 力, 嵯崎 育子

progression; development of specific glycomarkers]

J. Michael Pierce (University of Georgia)

- 「インスリン産生 β 細胞の機能におけるヘパラン硫酸の役割」
那谷 耕司 (岩手医科大・薬学部・臨床医化学)

16:45~17:45 〈特別講演〉

- 「ヒアルロン酸合成阻害剤・4-Methylumbelliferoneの発見とその後の糖鎖研究の展開」
遠藤 正彦 (弘前大・院医・糖鎖医化学)

10月13日 (土)

9:00~10:00 〈一般講演〉

- 「セルラーゼ機構解明を目指したオリゴ糖ミミックの開発研究」
橋本 勝 (弘前大・農学生命科学部)
- 「O-GlcNAc修飾を介したスフィンゴ糖脂質代謝制御機構」
郷 慎司 (東北薬科大・分子生体膜研・機能病態分子学)
- 「マベガイ真珠マトリックスタンパク質としてのジャッカリン様レクチン」
小川 智久 (東北大・院・生命)

10:15~12:15 〈ポスタープレゼンテーションおよび討論・・・17演題〉

13:35~14:35 〈一般講演〉

- 「O-グリカンによる癌の免疫逃避機構」
坪井 滋 (財)鷹揚郷腎研究所・生化学)
- 「b-1,4-ガラクトース転移酵素遺伝子の発現制御による癌の増殖制御」
古川 清 (長岡技科大・生物系・糖鎖生命工学)
- 「ヒトシアリダーゼNEU2の発現と機能」
宮城 妙子 (東北薬科大・分子生体膜研・がん糖鎖制御学)

14:35~15:00 〈ポスター賞表彰 閉会〉

4. 主 催：東北糖鎖研究会

5. 共 催：日本応用糖質科学会東北支部

6. 後 援：(公財)水谷糖質科学振興財団

7. 世話人：加藤 陽治、大山 力、柿崎 育子

8. 参加費：無料

9. 事前申込：下記問い合わせ先へお申し込みください。

10. URL：<http://www.glycoforum.gr.jp/square/touhoku06/index.html>

※研究会第1日目10月12日(金)(18:00~20:00)、弘前大学生協レストラン・スクーラムにて懇親会を予定しております。

(会費 一般：3,000円、学生：1,000円)

※弘前大学学生・大学院生・教職員、多数の参加をお待ちしております。

問い合わせ先：弘前大学大学院医学研究科 附属高度先進医学研究センター
糖鎖工学講座内 担当：柿崎 育子
電 話：0172-39-5015
E-mail：kaki@cc.hirosaki-u.ac.jp

福島県浪江町 馬場有 町長「特別講演会」開催のお知らせ

弘前大学は、昨年9月29日、東京電力福島第一原子力発電所事故により放射能汚染を受けた福島県双葉郡浪江町と放射線問題解決等を目的とした連携協定を締結しました。

浪江町は、放射能汚染により昨年4月に警戒区域・計画的避難区域等に指定されたため、原発事故から1年半が経過した現在も約2万1千人の全町民が福島県内外の各地での避難生活を余儀なくされています。

この度、そのような状況にある浪江町において、東日本大震災発生直後から町民の避難活動等の陣頭指揮を執られてこられた馬場有町長に本学にお出でいただき、「震災・原発事故からの再起へ」～あの3月15日 遠ざかる『浪江町』の標識にはせた思い～という演題にてご講演いただくこととなりました。

今回の馬場町長のご講演については、本学の学生に是非聞いていただきたい、とのご意向もありますので、教職員のみならず、多くの学生の参加をお待ちしております。



1. 日 時：2012年10月16日（火）18：00～19：00
2. 場 所：医学部臨床講義棟 小講義室（B1階）
3. 講 師：福島県浪江町 町長 馬場 有 （ばば たもつ）
4. 演 題：「震災・原発事故からの再起へ」
～あの3月15日 遠ざかる『浪江町』の標識にはせた思い～
5. 参加費：無 料
6. 締 切：参加を希望される方は、10月9日（火）までに、下記までお申し込みください。

問い合わせ先：被ばく医療総合研究所事務室

電 話：0172-39-5401

FAX：0172-39-5514

E-mail：jm5401@cc.hirosaki-u.ac.jp

「学術講演会」開催のお知らせ

1. 日 時：2012年10月17日（水） 17：40～18：45
2. 場 所：弘前大学大学院保健学科C棟2F 大学院セミナー室1
3. 演 題：「アドバンスドESR法によるアラニン線量計の研究」
4. 講 師：Boris Rakvin 先生
Ruder Boskovic Institute, Zagreb, Croatia
5. 要 旨：

最も簡単なアミノ酸であるアラニンは、放射線照射で安定ラジカルになることが知られ、アラニン線量計として用いられている。このアラニンラジカルについて、最新のESR（電子スピン共鳴）法による研究成果を述べる予定です。

問い合わせ先：弘前大学大学院保健学研究科 中川 公一



電話：0172-39-5921

「第12回青森糖質研究会」開催のお知らせ

1. 日時：2012年10月19日（金）
14:00～17:30
2. 場所：弘前大学創立60周年記念会館
コラボ弘大 8F 八甲田ホール
3. テーマ：『身近な糖質素材が持つ大きな可能性
～糖質の役割とは～』
4. プログラム：

14:00～14:10
〈開会の挨拶〉 青森糖質研究会 会長 加藤 陽治

14:10～16:10 〈講演〉

- 「イネいもち病菌由来のグルコシダーゼ導入トリコデルマ菌分泌酵素の誘導及び糖化利用に向けて」

高橋 真智子（岩手生物工学研究センター）

- 「機能性食品の大きな可能性

～遺伝子損傷の緩和によるがん・生活習慣病の日常的予防～
山本 歩（八戸工業高等専門学校 物質工学科）

- 新技術紹介「植物材料糖化物、醸造物およびそれらの製造方法

～リング搾汁残渣からの食酢製造について～

高橋 匡（青森県産業技術センター 弘前地域研究所）

16:25～17:20 〈遠藤賞授与式および受賞講演〉

- 「『もち小麦』の6次産業化と健康福祉分野への応用」

もち小麦商品開発研究会
（代表 青森県立保健大学 藤田 修三）

- 「シクロデキストリンポリマーの開発と実用化研究」

（株）環境工学
（地独）青森県産業技術センター工業総合研究所

17:20～17:30 〈閉会の挨拶〉

5. 主催：青森糖質研究会

6. 共催：ひろさき産学官連携フォーラム、日本応用糖質科学会東北支部

7. 参加費：無料

8. 事前申込：下記問い合わせ先へお申し込みください。

9. URL：<http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/~biochel/aotouken/aotouken.htm>

※研究会終了後（18:00～20:00）、弘前大学生協レストラン・スクーラムにて交流会を予定しております。

（会費 一般：3,000円、学生：1,000円）

※一般市民、弘前大学学生・大学院生・教職員、多数の参加をお待ちしております。

問い合わせ先：青森糖質研究会事務局

弘前大学大学院医学研究科 附属高度先進医学研究センター
糖鎖工学講座内 担当：柿崎 育子
電 話：0172-39-5015
E-mail: aotouken@cc.hirosaki-u.ac.jp

白神研究会2012年度 秋季観察会
「紅葉の十二湖大崩れ探訪」のお知らせ

1. 日 時：2012年10月20日（土） 10：30～15：00（雨天決行）
2. 集 合：「アオーネ白神（旧サンタランド）」駐車場
（車のない方はお申し出下さい。8：00弘前大学正門集合）
3. 解 散：15：00頃 アオーネ白神駐車場
4. 定 員：20名（小学校高学年以上。小中学生の場合は保護者の同伴をお願いします）
5. 参加費：1,000円（保険・テキスト代・雑費）
6. 申 込：弘前大学白神自然観察園
山岸さん：電話・Fax 0172-39-3706あるいは
白神マタギ舎 牧田さん：電話：0172-88-1881まで
7. 締 切：10月17日（水）ですが、定員になり次第締め切ります。

※ 履き物はトレッキングシューズ、ハイキングシューズ。服装はハイキング用のものでいいですが、雨具は必携です。手袋、帽子、虫除け、かゆみ止めをご用意ください。お弁当、飲み物をお持ちください。地図は配布しますが、ご自身で用意される方は、1:25000地形図「十二湖」図幅です。

問い合わせ先：白神マタギ舎 牧田 肇
電 話：0172-88-1881

「第14回家庭でできる看護ケア教室」開催のお知らせ

一般市民の方々を対象に看護の専門領域で活躍するナースが、講師として実際に即した方法をお伝え致します。

1. 日 時：
第1回目 2012年10月24日（水）13：00～15：30
「さあ、始めよう！手洗いでウイルスストップ」
講 師：一病棟3階 感染管理認定看護師 尾崎 浩美

「がんばりすぎない排泄ケア」
～介護する人もされる人も快適なおむつのある暮らし～
講 師：一病棟4階 皮膚・排泄ケア認定看護師 鎌田 恵里子

第2回目 2012年11月8日（木）13：00～15：30
「お口の健康、全身元気！」
講 師：歯科口腔外科外来 副看護師長 石田 芳子

「体操しながら転ばない明日をめざそう！」
講 師：二病棟7階 副看護師長 高橋 安紀子
*動きやすい服装でご参加ください。

2. 場 所：弘前大学医学部コミュニケーションセンター
(駐車場はございません)
住所：弘前市本町40-1

3. テーマ：暮らしの中の健康チェック！
～あなたは大丈夫ですか？～

4. 参加費：無料

5. 募集人数：市民の方30名(先着順)

6. 主催：弘前大学医学部附属病院 看護部

※この事業は、社団法人 青森医学振興会の助成金で運営されております。



申込・問い合わせ先：弘前大学医学部附属病院 地域連携室 福士 明美

電 話：0172-39-5337

(月～金 9:00～17:00 *祭日は除きます)

FAX：0172-39-5338

(FAXには、受講参加日、住所・氏名・電話番号をご明記ください。)

「判決を決めるものー裁判員裁判の量刑と評議を考える」開催のお知らせ

裁判員裁判の実施から3年が経過し、2012年10月末までに青森県内で40件に判決が出ます。市民の務める裁判員が、裁判官とともに、担当した事件の有罪・無罪と有罪の場合の刑の重さをどのように判断するのか、講演で学び、守秘義務の範囲内で意見交換を行います。誰しも選ばれる可能性のある裁判員。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2012年10月27日(土) 15:00～17:00

2. 場 所：弘前大学総合教育棟201号教室(文京キャンパス内)

3. 内 容：

○第一部 講演

杉田 宗久(同志社大学大学院司法研究科(法科大学院)教授、元裁判官)
「裁判員裁判における量刑」

藤田 政博(関西大学社会学部准教授)
「裁判員裁判における評議」

○第二部 パネルディスカッション

杉田 宗久、藤田 政博、青森県内の裁判員経験者(澁谷 友光ほか)など

4. 主 催：弘前大学人文学部・教育学部・学生サークルteens & law

*入場無料、事前申込不要、学内外問わず参加歓迎

*裁判員経験者パネリストを追加募集中です。非公開の経験者交流会も同日開催予定です。ご協力いただける経験者の方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

*同日13:00より、同会場にて、学生サークルteens & lawによる脚本、演技(裁判員役は当日会場で募集)の模擬裁判員裁判「決めるのはあなた」(身代金目的誘拐事件)が開催されます。

お時間がございましたらあわせお運びください。

問い合わせ先：弘前大学人文学部 飯 考行（いい・たかゆき）

電 話：0172-39-3958

E-mail：iit@cc.hirosaki-u.ac.jp

「地域とともに育む大学生の就業力

—大学生のチャレンジ2012—中間報告会」開催のお知らせ

就業力育成支援事業では、地域企業と連携して課題解決型学習を実施し、学生の企画提案力を育成するとともに、地域における雇用機会の拡大を目指し活動を行ってきました。

地域企業との対話を通して培う企画提案力というテーマのもと、地域企業の抱える経営課題を素材に学生独自のアイデアで企画・提案を行っています。

今回の報告会では、学生と連携企業とのこれまでの活動を中間報告として発表し、皆さんからの意見をいただきたいと思っております。多くの皆さんのご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2012年10月28日（日）13:00～16:30

2. 会 場：弘前大学創立50周年記念会館 2F 岩木ホール

3. 議 題：学生の活動の中間報告

—連携企業と取組内容—

①ブナコ漆器製造 株式会社

取組内容：ブナコインテリア照明の販路開拓

②ベストウェスタンホテルニューシティ弘前

取組内容：インバウンド観光普及に向けた提案

③企業組合 てる・そーれグループ

取組内容：美容ドリンク『ゆめひみこ』販路開拓

④株式会社 小林紙工グループ

取組内容：津軽塗パッケージの提案

⑤弘前観光コンベンション協会グループ

取組内容：シニアサマーカレッジオプションツアー計画・実施

⑥中南地域県民局グループ

取組内容：スギ木骨新商品の開発

⑦青森日産自動車株式会社グループ

取組内容：リーフを利用した観光マップ作成

⑧津軽地吹雪会・あおもり観光デザイン会議グループ

取組内容：新しい観光商品の開発

⑨弘前マルシェコンソーシアムグループ

取組内容：魅力的な販売・宣伝方法の提案

⑩道の駅ひろさきサンフェスタいしかわグループ

取組内容：集客力アップに向けた提案

4. 対 象：本学学生、教職員及び企業・行政関係者



5. 参加費：無料

※参加人数確認のため、10月17日（水）までに申し込み願います。

6. 主 催：国立大学法人弘前大学

問い合わせ先：弘前大学人文学部 就業力育成事業事務局（総合教育棟2階）

電 話：0172-39-3978

E-mail: gp@cc.hirosaki-u.ac.jp

「学術講演会」開催のお知らせ

1. 日 時：2012年10月29日（月） 15:00～17:00

2. 場 所：弘前大学創立60周年記念会館 コラボ弘大 8F 八甲田ホール

3. 講 師：東京大学大学院工学研究科 鈴木 勉教授

4. 演 題：RNA修飾の多彩な機能と生命現象

5. 主 催：機関研究「RNAから見た生命システムの新視点」

問い合わせ先：弘前大学農学生命科学部 姫野 俵太

電 話：0172-32-7278

E-mail: himeno@cc.hirosaki-u.ac.jp

「第147回 日本農芸化学会東北支部大会」開催のお知らせ（再掲）

1. 日 時：2012年10月6日（土）10:00～17:50

2. 場 所：弘前大学農学生命科学部 302講義室、402講義室、403講義室

3. 一般発表：10:00～

日本農芸化学会奨励賞受賞講演

4. 特別講演：14:30～

エンド型グリコシダーゼの糖転移活性を利用した

ネオプロテオグリカンの合成とその応用

遠藤 正彦氏（弘前大学大学院医学研究科 糖鎖医化学講座特任教授）

5. 懇親会：弘前大学学生会館2F スコーラム

2,000円（一般）、1,000円（学生）

※参加費、事前申し込み不要。どなたでもご参加できます。

問い合わせ先：弘前大学農学生命科学部 宮入 一夫

電 話：0172-39-3772

E-mail: km124@cc.hirosaki-u.ac.jp

「第37回弘前大学経済学会大会」開催のお知らせ（再掲）

1. 日 時：2012年10月26日（金） 14:00～17:15

2. 場 所：弘前大学人文学部 4 F 視聴覚教室

3. プログラム：

○開会挨拶 14：00～

細矢 浩志会長（弘前大学人文学部教授）

○講演 14：10～

横山 英信 氏（岩手大学人文社会科学部教授）

農業者戸別所得補償制度をめぐる諸問題

○研究発表

15：40～

大橋 忠宏氏（弘前大学人文学部准教授）

日本での航空規制緩和とその評価

16：30～

大倉 邦夫氏（弘前大学人文学部講師）

「日本における社会的協働の展開---繊維産業でのリサイクル事業の事例を通して---

※参加費、事前申し込み不要。どなたでもご参加できます。

問い合わせ先：弘前大学人文学部 鈴木 和雄

電 話：0172-39-3271

弘前大学総合文化祭「知の創造」
保健学研究科「市民公開講座」開催のお知らせ（再掲）

『環境と放射線。そして食の安全』をテーマに市民公開講座を開催いたします。

事前の申し込みは不要ですので、参加を希望される方は当日直接会場にお越しください。多数のご参加を待ちしております。

1. 日 時：2012年10月26日（金）17：30～19：30

2. 会 場：弘前市立観光館 1階 多目的ホール

3. テーマ：『環境と放射線。そして食の安全』

4. 内 容：講演1 「食品の放射線物質の新たな基準について」

松坂 千亜紀 先生（青森県健康福祉部保健衛生課）

坂田 裕治 先生（青森県農林水産部）

講演2 「私たちの身の回りにある放射線って？ ー自然界にある放射線のはなしー」

細田 正洋 先生（弘前大学大学院保健学研究科助教）

5. 入場料：無料

6. 対 象：一般市民、教職員、学生

7. 共 催：緊急被ばく医療人材育成プロジェクト

生体応答科学研究センター

学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム補助事業

問い合わせ先：弘前大学保健学研究科総務グループ

「平成24年度弘前大学FDシンポジウム」開催のお知らせ（再掲）

1. 日 時：2012年11月3日（土）13：00～17：40

2. 場 所：弘前大学創立50周年記念会館

3. 主 催：弘前大学教育委員会

4. 開催趣旨：

大学における授業改善には、授業に対する「省察」を行うことが必要であり、そのためには、教員が自らの授業を記録・整理しておかなければなりません。このような授業実践記録とそれに教員の省察を加えた資料はティーチング・ポートフォリオと呼ばれています。

本学では、平成20年度から文部科学省からの特別経費の配分を受け、「ティーチング・ポートフォリオを活用したFD活動の展開」を実施し、弘前大学版ティーチング・ポートフォリオと位置付ける「教育者総覧」の全教員による作成を進め、学内への定着を図るなど、様々な活動を行ってきました。

本シンポジウムでは、こうしたこれまでの活動・成果を踏まえ、これを総括するとともに、大学における教育改善を進めていくため、今後のティーチング・ポートフォリオの更なる展開、発展について考え、今後の課題を明確にしていきます。

5. テーマ：「ティーチング・ポートフォリオを活用したFD活動の展開」

6. 日 程：

12：30～13：00 受付

13：00～13：10 開会の挨拶 弘前大学長 佐藤 敬

【第一部】司会：鬼島 宏

13：10～13：50 基調講演 文部科学省高等教育局

13：50～14：20 講演 「5年間の総括と今後への展開」

弘前大学理事（教育担当）中根 明夫

21世紀教育センター高等教育研究開発室長 田中 正弘

【第二部】司会：藤崎 浩幸

14：30～15：00 特別講演「アカデミック・ポートフォリオの基本理念」

帝京大学教授 土持ゲーリー法一

15：00～15：30 特別講演「新任教員研修でのティーチング・ポートフォリオの活用」

立命館大学講師 林 泰子

【第三部】司会：鬼島 宏、藤崎 浩幸

15：30～17：30 総括討論

17：30～17：40 閉会の挨拶 弘前大学理事（教育担当）中根 明夫

18：00～19：30 【懇親会】（スクーラム 弘前大学内）

7. 対象者：本学教職員及び学生、国立大学（全国）、公私立大学（北海道・東北地区）

8. 参加申込：

参加を希望される場合は、氏名・所属・連絡先電話番号・メールアドレスを記載し、下記問い合わせ先へ10月19日（金）までに、E-mail等で申込みください。

事前に申込みいただくが当日直接会場に来ていただいても構いませんが、資料準備等の関係から、できるだけ事前申込みくださるようお願いいたします。

なお、参加費は無料です（18：00～19：30の懇親会に出席の場合は会費が必要です。参加希望のご連絡の際には、懇親会への出欠についても併せてお知らせ願います）。

問い合わせ先：弘前大学学務部教務課（教務企画担当）

電 話： 0 1 7 2 - 3 9 - 3 1 0 8

F A X： 0 1 7 2 - 3 9 - 3 9 6 1

E-mail : jm3108@cc.hirosaki-u.ac.jp

学 内 掲 示 板

弘前大学出版会から新刊のご案内

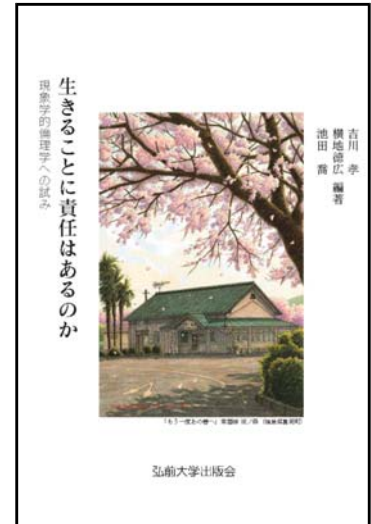
吉川孝・横地徳広・池田喬 編著「生きることに責任はあるのかー現象学的倫理学の試みー」(四六判、305頁、定価2,625円：税込)を出版しました。

生きることに責任が求められることなど、あるのだろうか。

日々の生活に追われるなかで、思い浮かぶことのない問いであろう。しかし、この問いを私たちから投げかけうる人びとがいる。哲学者のことである。本書では、とりわけエドムント・フッサールに始まる「現象学運動」を形作った哲学者たちに、〈生と責任〉をめぐる倫理的思考の消息をたずねた。

その名を連ねれば、フッサールはもちろん、マックス・シェーラーやマルティン・ハイデガーである。つづいて、彼らのドイツ現象学を吸収したモーリス・メルロ＝ポンティやエマニュエル・レヴィナスといったフランスの現象学者たち。これら二つの現象学から多くを学んだ日本の哲学者――西田幾太郎、田辺元、和辻哲郎、三木清、九鬼周造も…である。

本書を読まれるみなさんに、彼らの現象学的倫理学がそれぞれに輝き、一つの星座を織りなして見えたなら、本書の執筆者一同、これ以上の喜びはない。



ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求めください。

研究紀要“SHIRAKAMI-SANCHI”への掲載論文の募集（再掲）

弘前大学白神自然環境研究所では、白神山地に関する学術的研究を推進するため、研究紀要“SHIRAKAMI-SANCHI”（英文）を刊行しています。白神山地とそれに関連する研究論文等を下記要領で学内より募集いたします。

1. 内容：白神山地とそれに関連する全ての分野の研究論文、報告、総説など。
2. 使用言語：英 語
3. 締め切り：2012年10月31日（水）
4. 投稿規定は白神自然環境研究所のホームページ (<http://www.hirosaki-u.ac.jp/shirakami/>) で見るができます。

問い合わせ先：弘前大学白神自然環境研究所 中村 剛之

電話・FAX：0172-39-3707

E-mail： dhalma@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上、ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

問い合わせ先： 弘前大学出版会（附属図書館内）
電 話：0172-39-3168
F A X：0172-39-3171
E-mail：hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp

国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」を作成しています。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

<http://www.janu.jp/report/infomation.html>

第25号・第23号・第22号において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から） 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部広報・国際課広報・国際グループ

E-mail：jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp Fax:39-3498、内線：3012